

印西地区ごみ処理基本計画 ごみ減量施策案

委員名 城戸マツヨ

におわないプランターへの生ごみ利用で花いっぱい運動の提案

意識の高い市民や畑やある程度の広さの土地が確保できる層での生ごみの自家処理は、ある程度すすんできて定着し、ゴミ減量に少なからず貢献してきていると思われます。自己処理をもう一步すすめる方法として、集合住宅や密集した住宅でのプランターでの野菜や花づくりへの生ごみ利用の推進は有効と考えます。

やり方は後に述べますが、この方法の利点として

- ・ 50g/日人減量が簡単にできる
- ・ 全く臭いがしないので密集した住宅地でもとりくめる
- ・ プランターの残渣も利用できゴミがでない
- ・ 使用した土はくり返しかえるのでゴミにならなし、経済的
- ・ 色あざやかで長持ちする花栽培が初心者にもできる
- ・ 病気や虫の害がきわめてすくない
- ・ 花いっぱい運動の推進に貢献する
- ・ 福祉施設の活動に貢献できる

におわないプランターへの生ごみ利用のやり方

材料

プランター（例：長さ 60cm 高さ 15～20cm）

土

生ごみ＝新鮮なもの ミネラルの豊富な野菜の皮芯へたはとくによい。小さく切る（プランターの土の 1/4 の容積：上のプランターで約 2～3kg 一日では貯まらない時は貯まるまで冷蔵庫で保存）注：生の魚などは入れない。

EMボカシ（印西福祉作業所コスモス 白井福祉作業所：就労継続支援B型事業所のみ）
NPO法人ねむの里：栄町で製造販売している。その他ホームセンターでも販売している。使用料は生ごみの約 1/4 位）

EM活性液（有用微生物培養液＝原液を購入して自分で培養できる。白井福祉作業所で販売している）

やりかた

- ① 土、生ごみ、EMボカシをまぜる。EM活性液を加え、べたべたでなくサラサラでない位の水分状態にする
- ② プランターの底にネットに入れたゴロ石を敷き、その上に①をふんわりいれる
- ③ 表面にEM活性液をスプレーでひとふきする
- ④ 保温をかねて新聞紙などで全体を覆い暖かい場所におく。絶対雨が降りこまないように注意してください
- ⑤ 表面に白い菌糸がでたら(3日位)、ブルーシートなどにプランターから土をひっくりかえして混ぜます。土は白い菌糸がはってみそのようなかすかな臭いになります。再びプランターにふんわり入れ、新聞紙で覆って保管。表面にEM活性液をスプレーひとふきしておくとい
- ⑥ 一週間後⑤をくりかえす
- ⑦ 1ヶ月以上ねかせてから植えものや種まきする